

# 今回のオススメメニュー

NO IMAGE

## アームストロング

### そら 宙飛ぶネズミの大冒険

著 者：トーベン・クールマン  
出 版 社：ブロンズ新社  
所 蔵 館：中央館  
請求記号：E

## ちょっとあじみ

一番初めに月へと辿り着いた者の名前は…？

街の雑踏の中、人家の隅、人間の生活圏のすぐ隣に確かに存在するネズミたち。その中から人家の屋根裏に置かれた望遠鏡をのぞき込み、満点の夜空や月を眺め、それに興味を持ち始める小ネズミが現れます。彼は望遠鏡で観察を続け、月に関して知り得た情報を書きとめて仲間のネズミたちに紹介しますが信じてもらえません。それもそのはず、チーズを愛してやまないネズミたちは、遠く夜空に浮かぶ月のことだってもちろん巨大なチーズだろうと信じて疑わないからです。皆に話を聞いてもらえずに意気消沈する小ネズミ。しかし彼のもとにある一通の手紙が届き、その中にはスミソニアン(アメリカにある博物館)への招待券が…。

熱意や知識、度胸と、何より幾度立ちふさがる妨害や失敗にもめげずに立ち向かい、立ち上がることができる諦めない思いがあれば、たとえ人間にとっては小さな生き物であるネズミでも何か想像もつかないような大きなことを成し遂げられる。そう信じさせてくれる素晴らしい作品です。資料種別こそ絵本ですが、一見してそうとは思えないようなこの読みごたえは、是非皆さんにも味わって頂きたいと感じました。

紙面の都合上詳しく紹介するスペースはもうありませんが、前作の『**リンドバーク 空飛ぶネズミの大冒険**』(所蔵館：石川館)もまた別の世代のネズミが奮闘するストーリーとなっています。是非こちらも楽しみください。